

（仮称）押切・湊橋事業説明会 主な質疑及び応答について

令和6年7月6日（土）10:00～11:00

行徳公民館

【道路計画について】

Q：旧江戸川沿い道路と行徳街道間に新しい道路を計画した経緯を知りたい。

A：（仮称）押切・湊橋の事業範囲にある現在の2本の通路の利用状況を改めて確認したところ、機能を代替する道路が必要であると考えたためです。

Q：新しい道路が行徳街道に車が出入りができない計画とした経緯を知りたい。

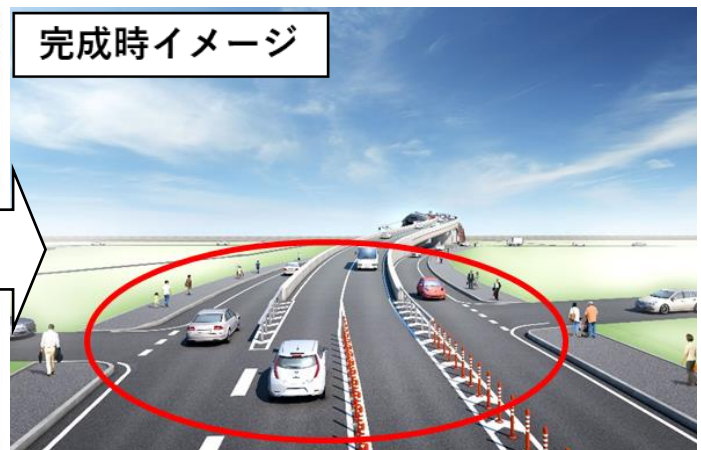
A：現在の2本の通路の機能を代替するため、現在の通路と同様に行徳街道からの車両の出入りはできない計画としています。また、行徳街道への接続位置が押切交差点内となっているため、安全性を確保するためにも車両の出入りはできない計画としています。

Q：緊急車両の通行やお祭り等の行事時の車両の通行等は、車止めを外して通行するような特例は認められないのか。

A：今後、警察や市川市等の関係機関や地元と協議を行い、検討していきます。

Q：橋の着地点に近い交差点はどうなるのか。

A：橋に向かう道路と側道との間に高低差が生じるところになるため、交差点ではなくなります。



【橋梁計画について】

Q：橋の区間において、自転車はどこを通行するのか。

A：今後、警察や東京都等の関係機関と協議を行いながら検討していきます。

Q：押切ポンプ場付近の歩道橋について、押切側と湊側では形が違うのは何故か。

A：押切側は斜路付き階段で、湊側は斜路（スロープ）として計画しています。

Q：将来的に橋の下空間の利活用（駐車場等）は考えているのか。

A：今後、事業の進捗にあわせて検討していきます。

Q：橋は押切水門の上を通るのか。

A：押切水門の上ではなく、脇（南西側）を通る計画です。

Q：橋の高さをもう少し低い計画にできないのか。

A：旧江戸川の河川管理通路や旧江戸川沿い道路、行徳街道と立体交差するため、それぞれの道路の建築限界※¹を確保した高さとしています。

※¹ 建築限界とは、車両や歩行者の交通の安全性・円滑性を確保するために構造物等を配置してはならない空間。

Q：この近辺は寺社が多く橋のデザインが気になるが、周辺の景観に配慮したデザインとしてもらえるのか。

A：現在、橋の設計を行っているところであり、橋の計画案ができましたら皆様にご説明して、意見を伺う場を設けたいと考えています。

【環境影響について】

Q：橋が出来ることによる、騒音等の環境への影響はどうか。

A：過年度に、将来計画交通量 11,800 台/日に対して環境への影響の予測をしており、基準を満足する結果となっています。

Q：工事の際の振動・騒音が気になる。

A：工事は低騒音・低振動工法により施工します。

【補償について】

Q：将来、橋の下になる水神様のお宮をどのように考えているのか。

A：移転先や方法などについて引き続き地元と相談させていただきたいと考えています。

●説明会後にオープンハウスを実施しており、オープンハウスでいただいた質疑についても記載しています。

以上